



事業実施内容

タンザニアの都市部および周辺村落部に居住する貧困層を主要なターゲットに、当社開発製品「クリンカ 205」を活用した、安全で良質な飲料水を安価に、継続的に供給する製造・販売網を構築する。

製造・販売網の構築においては、第三の都市アルーシャ（Arusha）にて既に協力体制にあるネルソン・マンデラ・アフリカ科学技術大学院大学(NM-AIST)と連携して、「クリンカ 205」の特性(後述)を活かし、当社の利益の確保だけでなく、現地企業有能力開発を視野に入れた技術の移転、雇用の促進を目指すなど、タンザニア現地との win-win で持続可能なビジネスモデルを開発するための、有力な現地のパートナーを候補を探す。



事業成果

- ①ビジネスモデルの明確化
- ②網羅性の高いパートナー候補企業の洗い出し
- ③有力パートナー候補の絞り込み
- ④現地の信頼できる学術機関とのパートナー関係の深化
- ⑤事業展開に向けたネクストステップの明確化

今後の事業展開

～現地の有力なパートナー候補との今後の計画～
タンザニアでクリンカ 205 を製造・販売する現地の有力パートナー 3 社 (Gongali Model, T-webs, Ngurdoto Defluoridation Center と今後協議を重ね、実施に向けたプロセスを開始する。

- ・更なる水質検査
- ・コストの分析(原料・人件費・輸送費・許可証を含む)
- ・容器のデザインについて
- ・現地生産に向けた技術指導

～事業化スケジュール～

- ・有力パートナーと現地生産に向けた協業についての問題点を解決していく
- ・更なる水質検査実施に向けて話し合いを進める
- ・現地生産に向けた具体的な準備を進める